

今週のビルマのニュース  
2009年6月5日【0922号】

今週の主なニュース：スーチー氏判決は来週以降

・インsein刑務所の特別法廷で5月18日から開かれていた民主化指導者アウンサンスーチー氏の公判で、当初1日に予定されていた最終弁論が延期された。スーチー氏の弁護人は3日、特別法廷がスーチー氏側の証人3人を裁判所が却下したことについてラングーン高等裁判所に異議申し立てを行った。高裁は申し立てを受け付け、5日に弁論が行われることになった。5日には特別法廷で最終弁論が行われる予定だったが、高裁での弁論と重なるため、最終弁論が延期となった（3日付AFPほか）。高裁が異議申し立てを認めれば、特別法廷は証人3人に証言させなければならなくなり、最終弁論はさらに延期になる。

【背景】軍政は5月、突然訪れた米国人男性を家に入れたことが来客を禁じる自宅軟禁の規則に違反したとして、スーチー氏を起訴した。起訴の背景には、来年予定の総選挙を前に国民の支持を集める氏の拘束期間を延長したいという軍政の政治的動機があり、有罪判決（最長禁固5年）が出るとの見方が大勢。

その他：佐々江外務審議官がビルマを訪問、ほか

・外務省の佐々江賢一郎外務審議官審議官が3日から5日までビルマを訪問中。外務報道官は3日の会見で「政府要人との間で二国間関係全般の協議を行う予定」と述べた。

・人権活動家で英国保守党人権委員会副議長のベネディクト・ロジャーズ氏はヘラルド朝日に寄稿し、日本のビルマ政策について「（日本は）アジア地域で指導的な立場にある民主国家として影響力を用いることができるのに、実際には外務省はきわめて融和的な外交方針をとり続けている。日本は軍政による見せかけの総選挙を認めないことをはっきりと宣言すべき」などと述べた（2日付同紙）。

・ビルマ国内でスーチー氏の釈放を求めて氏の写真を市民に配るキャンペーンが始まった（4日付イラワディ）。国際的にも、氏の64歳の誕生日に合わせて支援メッセージを寄せる「64語キャンペーン」が行われており、ブラウン英首相、ブラッド・ピット、デイビッド・ベッカム、マドンナなど、世界の様々な分野で活躍する著名人や市民がメッセージを発表している。日本の国会議員も参加中（詳細は来週）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など  
新たな発表はなし。

イベントなど

・アウンサンスーチー氏起訴へ抗議 ビルマ軍政に対してスーチー氏と全ての政治囚の釈放を求める抗議行動 在日ビルマ人のみなさん（在日ビルマ大使館前、1～5日15時～16時）

・メコン・ウォッチ活動報告会「今、考えたい日本とメコンのかかわり～環境と地域を破壊する開発援助のあり方を通して」ビルマでの天然ガス開発についての報告有り（台東区生涯学習センター・学習館、13日13時半～）

・第57回ビルマ市民フォーラム例会「アウンサンスーチー不当起訴のゆくえと背景（仮題）」根本敬、秋元由紀（池袋・ECOとしま8階、13日18時～）

・国際シンポジウム「新時代の難民保護と市民社会～アジア太平洋7カ国・地域のNGOの視点から」主催：難民支援協会（港区・女性と仕事の未来館4階ホール、13日10時半～）★要申込 ティンウィン在日ビルマ市民労働組合会長がパネリスト。

・アウンサンスーチー氏64歳の誕生日祝福会 主催：国民民主連盟（解放地域）日本支部（南大塚ホール、14日18時～）

・写真展・講演会「難民たちの未来 ビルマ」主催：ビルマ民主化支援会、共催：アムネスティ・インターナショナル日本（名古屋国際センター4階第一展示室 13日9時～21時、14日9時～19時／在日ビルマ政治難民ココラットさんの講演会は同会場3階第二研修室にて、14日10時半より）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）  
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

☆ビルマ情報ネットワークのウェブサイトがリニューアルし、より見やすくなりました！

お問い合わせ  
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
[yuki@burmainfo.org](mailto:yuki@burmainfo.org) 080-2006-0165